

### (3) ゾーニング計画

キトラ古墳の保存、体験的歴史学習の場の整備、歴史的風土の保全、情報案内の場など空間利用の観点から、4つのエリアに分け、各エリアにおいて以下のようにゾーンを設定する。

#### 1) 各エリアにおけるゾーン構成について

古墳及び周辺環境保全エリア：古墳と古墳周辺環境を一体的に保全すべき区域  
古墳保全ゾーン

：古墳周辺の樹林地を古墳本体と一体となった周辺環境として保全するため、樹木の保護や表土の流出を防ぐ地被類の植栽などの高質な管理を行う。

古墳鑑賞ゾーン

：キトラ古墳の全容が見渡せる空間として広場を整備すると共に、季節感漂う野の花等による修景を行う。



歴史体験学習エリア：キトラ古墳の存在を通じて体験的歴史学習を展開する区域  
歴史体験ゾーン

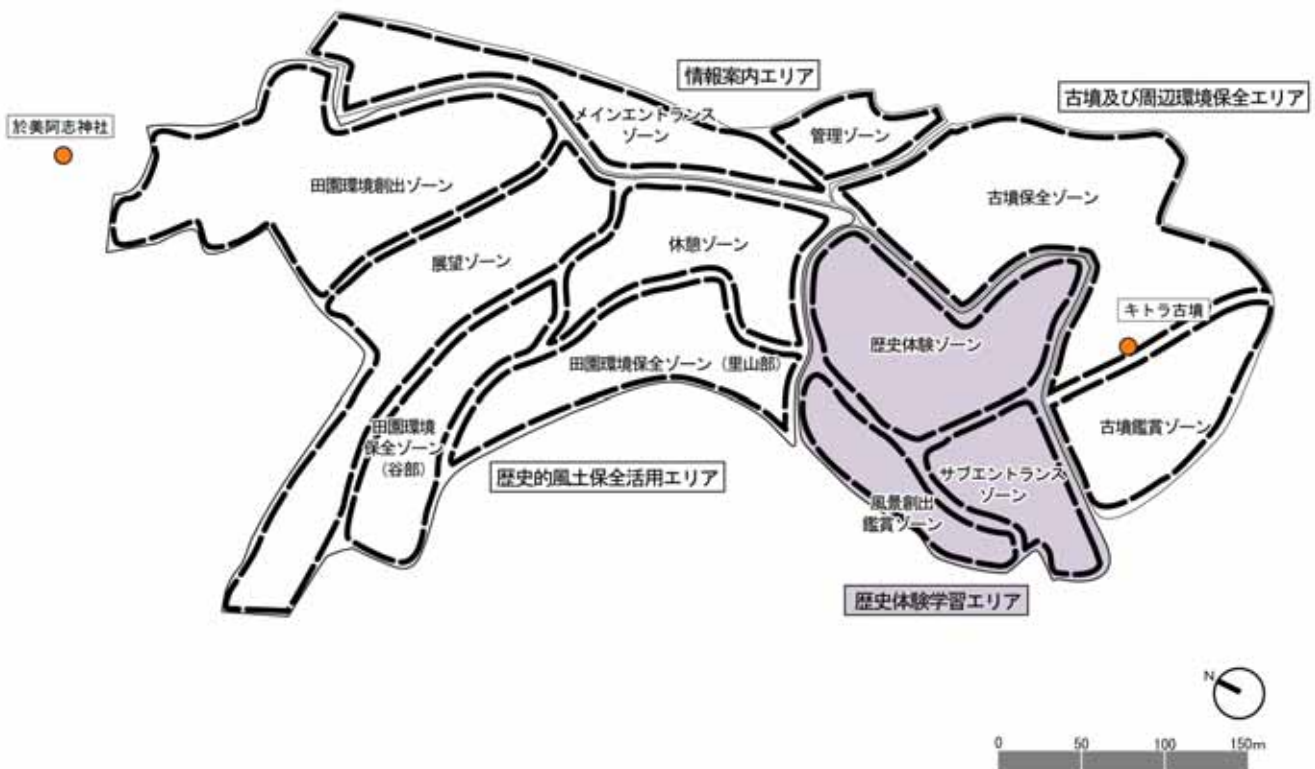
：様々な歴史的文物やレプリカの展示等を行うほか、館内外での体験的歴史学習の中心となる施設を整備する。マルチメディアや双方向型の展示等により、楽しく分かりやすい歴史学習の拠点とし、企画展示やイベント等の企画にも対応していく。また屋外での体験学習の広場として、古代の風習や行事体験、星宿図にちなんだ天文観測など、工夫をこらした企画を展開する場とする。

サブエントランスゾーン

：キトラ古墳への団体客や一時立ち寄り客の利用に対応した駐車場として、大型観光バスの駐車可能な空間とする。また、古墳本体・展示施設に近接することから、自転車来園者のための駐輪場の整備を図る。

風景創出・鑑賞ゾーン

：体験学習広場周辺の斜面地は、景観構成要素、視点場として重要であるため、公園の景観フレームを構成する空間として積極的に修景するとともに、サブ駐車場に隣接した待合の場となる眺望点の整備を行う。



歴史的風土保全活用エリア：歴史的風土を保全しながら、多様な利活用を展開する区域

田園環境保全ゾーン（谷部）

：谷筋に展開する農地と耕作放棄地を活かし、参加型維持管理による棚田空間の保全を行う。斜面やあぜ道などは、在来草本種による修景を行う。

田園環境保全ゾーン（里山部）

：現況の樹林地を参加型による管理で保全を行い、里山空間としての良好な環境づくりを進めていく。また、参加者同士の交流を深めるイベントの開催をあわせて行う。

休憩ゾーン

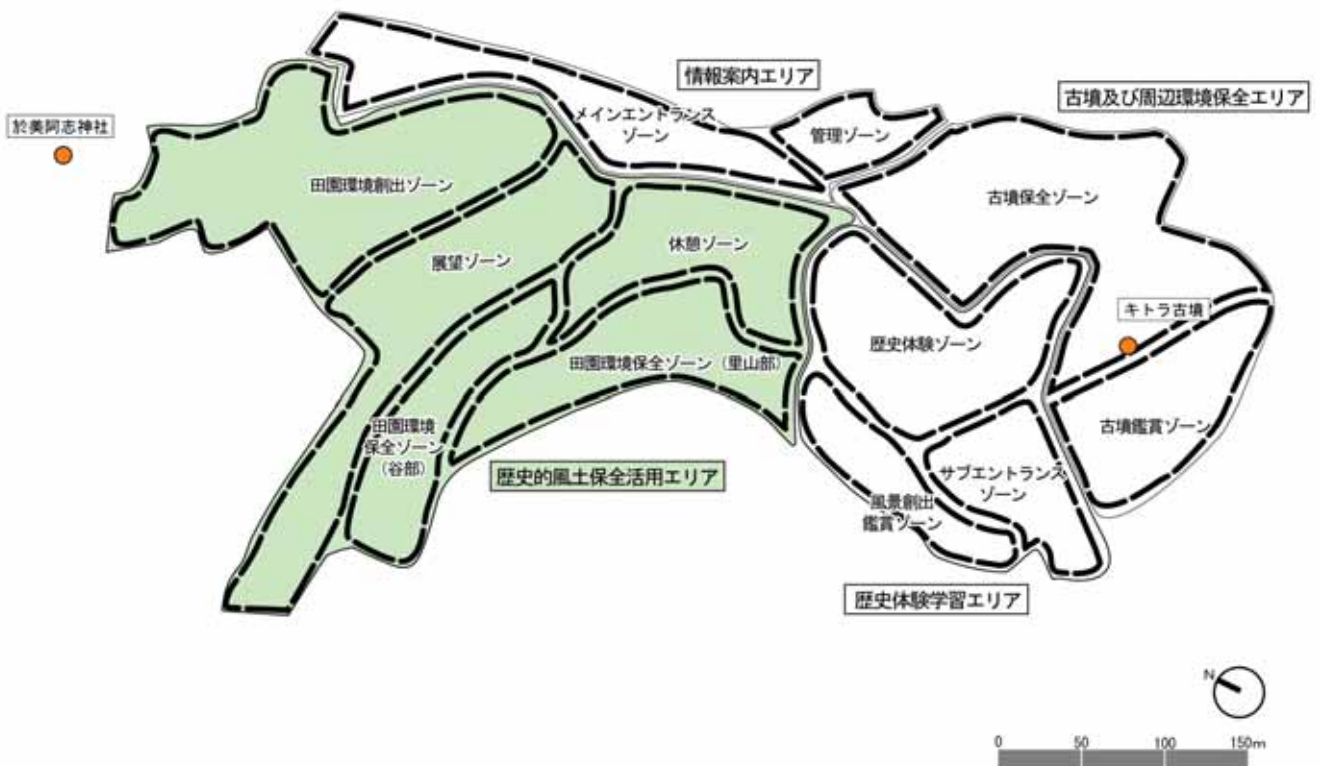
：三方を緑に囲まれた、ゆったりと休息ができるメインの広場空間とする。サービス機能の充実したメインエントランスゾーンと歴史体験ゾーンとの連携により、さまざまな催しにも対応する。

展望ゾーン

：谷筋と尾根筋が織り成す飛鳥の風土性を代表する空間として、イベント開催によって交流を促す空間構成とする。遠景に金剛葛城山系の山並み、近景には大根田集落や棚田景観を望むことができ、周囲の飛鳥らしい風景を鑑賞する視点場としても重要であり、隣接する古都法による買入地等と一体的に保全・修景を行う。

田園環境創出ゾーン

：檜隈寺跡に隣接する場所であることから、田園風景を再生するとともに、当時渡来人がもたらした大陸文化や先進の技術を体験できる工房群を設置し、当時の生活が体験できる場とする。



情報案内エリア：国営公園としての利便性を高める各種サービスを提供する区域  
メインエントランスゾーン

：キトラ古墳周辺地区全体のメインゲートとして、情報提供および購買等のサービス提供をおこなう施設とメインの駐車場を設ける。

北には於美阿志神社、東には大根田集落を望む尾根線上に位置することから、景観的に重要な場所であるとともに、エントランスとしての公園の雰囲気づくりが必要な場所である。そのため、設置施設は飛鳥らしい集落景観と調和する民家型とし、農産物販売や郷土の名製品の展示などのイベントを行いながら賑やかな空間演出を図る。

### 管理ゾーン

：本地区の施設全体の管理を担うとともに、ボランティアの活動拠点としての施設の配置や植栽等のバックヤードなど、飛鳥公園他地区や飛鳥各地の歴史的風土の保全に寄与するハードとソフトを育てていく場とする。

